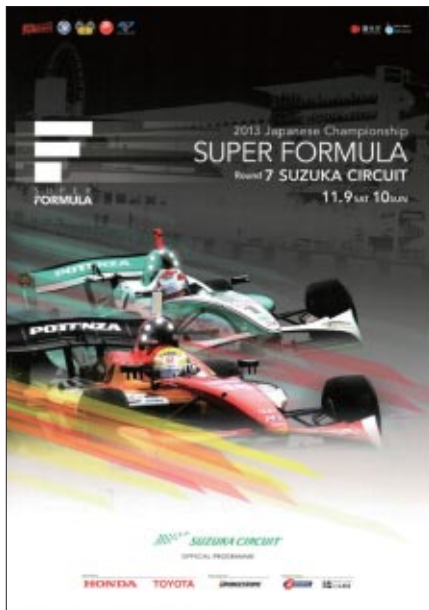


S U P E R FORMULA





公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名：2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第7戦 鈴鹿サーキット
- 日程：2013年11月 9日(土) 公式予選・決勝レース(FCJ) 10日(日) 決勝レース
- 主催：名古屋レーシングクラブ(NRC) 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) 株式会社モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA) 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 後援：経済産業省/観光庁/三重県/鈴鹿市/ 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/ 一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 併催レース：2013年 フォーミュラチャレンジ・ジャパン(FCJ) 第10戦、第11戦、第12戦 2013 MUGEN POWER Cup CIVIC One Make Race第5戦
- 会場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(4輪用:5.807km)
- 天候・動員：11月 9日(土)曇 16.9℃ 東北東の風2.8m/s 11,500人 10日(日)曇 16.2℃ 北東の風 2.2m/s 11,000人 ※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表

【メディア概要】

- 取材者数：37媒体 90名
- テレビON AIR：J SPORTS
 - 決勝レース1 11月10日(日) 10:00~12:00 J SPORTS 1(生放送)
 - 決勝レース2 11月10日(日) 14:00~16:30 J SPORTS 1(生放送)
 - 決勝再放送 11月10日(日) 22:30~27:00 J SPORTS 1
 - ダイジェスト放送 11月21日(木) 17:15~17:30 J SPORTS 2
 - ほかリピート放送あり
 - BSフジ 11月16日(土) 15:00~15:55
 - 再放送 11月17日(日) 13:00~13:55
- 携帯端末専用：モータースポーツチャンネル (i-mode/SoftBank/Ezweb公式サイトiPhone・Android対応 ※一部有料) 公式ラップタイムをスマホ・携帯で無料でチェック
- 公式サイト：鈴鹿サーキット公式ウェブサイト <http://www.suzukacircuit.jp/> スーパーフォーミュラ公式ウェブサイト <http://superformula.net/>



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

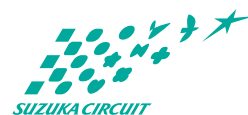
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

スーパーフォーミュラ初代王者は山本尚貴! レース2では中嶋一貴が今シーズン2勝目



今大会不参加のポイントリーダー アンドレ・ロッターと山本尚貴の二人にチャンピオン争いが絞られた2013年の全日本選手権スーパーフォーミュラ。その行方はもちろん、決勝2レース制や佐藤琢磨のスポット参戦など注目の一戦となりました。

[レース 1]

前日の予選でポールポジションを獲得した山本が好スタートを決めました。自らのミスで一時2位に落ちたものの、トップを再び奪取し、チェッカー。

自身初優勝とともにロッターとの差を3ポイントとし、レース2でのチャンピオン決定に大きく近づきました。

[レース 2]

4本のタイヤ交換が義務付けられたレース2は、1周目にピットインとタイヤ交換(ウェット→ドライ)を行ったJ.P.デ・オリベイラと中嶋一貴が1-2位を快走。ところがデ・オリベイラが終盤にマシントラブル発生、さらにクラッシュ。これでトップに立った中嶋が今季2勝目をマークしました。その後方、強まった雨の中スピン寸前の戦いを繰り広げた2位争いは小暮がものにし、3位に入った山本が念願のチャンピオンを獲得しました。

レース1 決勝結果

	DRIVER	TEAM	ENGINE
優勝	山本尚貴	TEAM無限	Honda
2位	中嶋大祐	NAKAJIMA RACING	Honda
3位	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL	TOYOTA

レース2 決勝結果

	DRIVER	TEAM	ENGINE
優勝	中嶋一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	TOYOTA
2位	小暮卓史	NAKAJIMA RACING	Honda
3位	山本尚貴	TEAM無限	Honda

※シャシーはSF13、タイヤはブリヂストンのワンメイク



レース1を制し、チャンピオンに大きく近づいた山本尚貴



レース2は昨年のチャンピオン中嶋一貴が制する



チャンピオンを獲得した山本尚貴

【サポートレースウイナー】

FCJ

第10戦/第12戦/
第12戦 山下健太



※タイヤはダンロップのワンメイク

MUGEN POWER Cup CIVIC One Make Race

第5戦 高島登

※タイヤはヨコハマのワンメイク

※詳細なレポート・リザルトは以下をご参照ください。

鈴鹿サーキット公式ウェブサイト <http://www.suzukacircuit.jp/>

スーパーフォーミュラ公式ウェブサイト <http://superformula.net/>

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

佐藤琢磨選手を応援する「グリコ」と「コチラレーシング」がコラボレーション。GPスクエアの「コチラレーシングwithグリコブース」をはじめ、楽しいイベントが展開されました。



GPスクエアに設置された「コチラレーシングwithグリコブース」。



ブース内では小学生以下のお子さまに琢磨プリッツ&ポッキーを先着でプレゼント。



メインゲートでも琢磨プリッツをご来場のお客さまに先着でプレゼント。



ブース横に展示されたグリコワゴン。佐藤琢磨選手の等身大パネルとともに人気のフォトスポットとなりました。



佐藤琢磨選手を招いてのトークショー（9日）。



グリコワゴンが10（日）のピットウォーク時にコースをデモ走行。

PICK UP 1 「コチラレーシングwithグリコブース」は、子どもたちを対象としたイベントの拠点となりました。



コチラちゃんファンクラブ、コチラレーシングファンクラブ会員の方を対象とした「バックヤードツアー」。写真はレースコントロールの見学の模様。



レース1優勝者を当てた小学生以下のお子さまと保護者の方にお楽しみいただいた「国際レーシングコースバスツアー」（10日決勝レース終了後）。

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



2014年から導入される新マシン「SF14」(手前)など、日本のトップフォーミュラの過去・現在・未来をご紹介した特別展示「フォーミュラの進化」。



ヒロ松下さんや小倉茂徳さんの解説で、その速さの秘密や開発秘話とともにご覧いただいた「フォーミュラマシン解体ショー」(10日 GPスクエア)。



(右から) 塚越広大、伊沢拓也、平手晃平、松田次生の各選手が一堂に会した「現役ドライバートークショー」(9日 GPスクエア)。



(右から) 井出有治、中嶋一貴、松田次生の各選手、本山哲さんが参加しての「現役・歴代ドライバートークショー」(9日 グランドスタンド前)。



レーシングスーツを着て本物のフォーミュラカー(FN06)のコックピット体験ができる「なりきり搭乗体験」(GPスクエア)。



ザウバーF1チームの風葬実験モデルと2012年F1日本GPで3位表彰台を獲得した小林可夢偉選手が使用したヘルメットの展示(レーシングシアター)。

PICK UP 2

国立大学法人三重大学が、地域社会と連携した現実の問題に取り組む授業として開講している講義「社会連携実践Ⅰ」の学外講義として、学生たちが「リアルレーシング」ピットでのレーシングチーム運営の説明(写真左)や、鈴鹿市の「TSR」、「ウエストレーシングカーズ」代表者との意見交換を行いました。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



国内外の学生たちがオリジナルマシンで競う「全日本学生フォーミュラ大会」。そのデモ走行(9日)と展示(10日)が行われました。



中学生以下のお子さまと同伴の方に無料でお楽しみいただいた「キッズピットウォーク」でドライバー特別サイン会(9日)。



VIPスイートとホスピタリティラウンジバスをお持ちの方を対象に行われたスペシャルトークショー。(右から)小倉茂徳さんと井出有治選手がとっておきのお話を披露しました(10日)。



パドックバスをお持ちの方にコース内3カ所に設けられた「激感エリア」(写真は1・2コーナーイン側)。エリア間を無料シャトルバスで結んでお楽しみいただきました。

PICK UP 3 決勝レース、そしてチャンピオン決定の余韻が冷めやらぬコース上では、来年から導入されるニューマシン「SF14」のデモランを松田次生選手と山本尚貴選手(写真左)が披露。そして全選手が登場してファンへのメッセージを伝えました。



PICK UP 4 全スケジュール終了後、ホスピタリティラウンジで行われた「シーズンエンドパーティー」。リラックスした雰囲気の中、選手や監督とファンとの交流が行われました。



【PR・販売ブース等 ご出展各社】



江崎グリコ株式会社【PR】
株式会社M-TEC【販売】

【サーキットビジョンご協賛各社】



江崎グリコ株式会社

日本アイ・ビー・エム株式会社

本田技研工業株式会社

【公式プログラムご協賛各社】



株式会社アライヘルメット
株式会社三栄書房
住友ゴム工業株式会社
日本サン石油株式会社
富士スピードウェイ株式会社
本田技研工業株式会社

A4 カラー60p 12,000部発行

【ホスピタリティラウンジご利用社】

本田技研工業株式会社

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2013年7月1日現在